

平成23年度第3回学校歯科研修会  
『歯・口の健康づくり推進指定校』  
実践活動報告会

もっともっと学校へ出かけよう！

麻生明星幼稚園

## 目次

はじめに 麻生明星幼稚園の概容

- 1、2009-2011年度のねらいと取り組み
- 2、評価 取り組みの結果と分かったこと
- 3、まとめ 私立幼稚園固有の課題について
- 4、2012年度以降のねらいと取り組み

## 麻生明星幼稚園の概容



## 敬虔 奉仕 創造性

- 当園の教育  
キリスト教の教理に基づく礼拝と祈りを身につけることによって、自らを理解し、隣人を理解し、生きることの尊さと意義を学ぶことを目標としている。
- 健康についての考え方  
「人間の身体は、神さまの霊が住む聖なる神殿である」という教えに基づき、大切に扱うべきことを学ぶ。

## 2012年2月17日現在

- 定員80名(実員74名)  
年長18名 年中25名 年少24名 満三歳児7名  
→学年別3クラス編成
- 職員17名+非常勤3名  
園長・主任・教諭(4)・補助教諭(1)  
事務・預かり保育ほか(6)・バス運転手(3)
- 園歯科医:岩寺環司  
園医:小菅正之  
園薬剤師:林正則

## 1、2009-2011年度の取り組み

- 目標「入園後はむし歯にしない」
  - ① 噛むことを意識した食生活  
食感を楽しむ食材選びと生活リズム
  - ② 砂糖の摂取量を意識化する  
子どもと一緒におやつ作り 「預かり保育」  
父親と一緒におやつや食事作り「ダディの会」
  - ③ 規則正しい生活リズムの確立保護者と職員にむけて  
園歯科医の指導と歯の新聞、各種講演会開催によって学んだ。  
学んだことは「むし歯の基本」「歯と口の健康のために基本となる規則正しい生活リズムの確立」「噛むことと唾液の分泌の意義について」「噛むことと顎の発達の関係について」「舌の機能と噛む力のために体格にあった家具を用いるべきこと」「他律的課題としての適切な間食の回数と内容」など。

## 預かり保育のおやつ

ねらい

- 食感を楽しみながら、噛むことの大切さを伝える。
- 砂糖の使用を意識化できるよう、子どもたちと一緒におやつの準備をする機会を設ける。
- 保護者と歯と口の健康について課題を共有できるように話題づくりをする。ホームページログによる情報発信とアンケートによってその反応を得る。

## おやつアンケートを実施して

- 統計をとる目的ではなく、幼稚園の取り組みや情報発信について保護者からの反応を得る機会として実施した。
- アンケートの結果、幼稚園から発信する情報を受けた家庭での取り組みや反応は実に多様であることがわかった。また、もともと食とむし歯予防について高い関心を持って取り組んでおられる家庭が少なからずあり、「歯磨き習慣」や「食物アレルギー」「偏食への工夫」など、家庭における取り組みへの理解と連携が幼稚園側に必要であることをあらためて思わされた。
- 保護者の中で「糖」の種類やカルシウムに言及される方も多く、「食生活」や「歯磨き習慣」「むし歯予防」についての意識は高い。その一方で「噛むこと」への取り組みは「かたいものを与える」という方法に偏る傾向があり、今後の情報発信の課題となった。

例：預かり保育のおやつ1



例：預かり保育のおやつ2



例：預かり保育のおやつ3



例：預かり保育のおやつ4



例：預かり保育のおやつ5



ダディの会



## 年二回の歯科検診

ねらい

- 一回目の検診を受けた後の保護者の対応を確認し、保護者の意識を高める。



## フッ化物の塗布

- 実施にあたっては、岩寺歯科医師の長年の取り組みに寄せる保護者の信頼と、案内文によって理解を得ている。



## 保護者への働き掛け

- 歯の新聞発行10回。
- 毎年の岩寺歯科医師による保護者講演会
- 札幌市北保健センターの協力による管理栄養士による食生活指導。
- 保護者会主催の「お弁当教室」開催。
- ホームページのブログによる預かり保育おやつのお話提供。
- 預かり保育のおやつアンケートの実施。
- 「ダディの会」による親子イベントの開催。

## 2、評価

評価の項目

- ①教職員の理解と取り組み
- ②保護者の理解と取り組み
- ③園歯科医師との連携
- ④幼児の自律的課題
- ⑤取り組みの結果、見えてきた課題

### ①教職員の理解と取り組み

- 岩寺歯科医師による教職員向けの研修会を開催した。
- 札幌市立らいらっく幼稚園の研究発表会に出席した。  
→各クラスでは関連絵本、エプロンシアター、食後の口ゆすぎ指導、歯と口に関する制作遊びなどに取り組んだ。  
→歯科検診などの機会に合わせた取り組みが中心となった。今後はクラスでの取り組みが一時的なものから、子どもの生活習慣へとつながるように発展させていきたい。
- 麻生明星幼稚園は2007年度から預かり保育の実施を本格化している。  
→預かり保育担当職員が取り組みの趣旨を了解し、手作りおやつと生活リズムの維持に工夫している。  
→午前中の教育を担当する教職員との連携が課題である。

### ②保護者の理解と取り組み

- 保護者間における関心や理解には幅がある。幼稚園からの情報提供とは別に独自の学びや取り組みを行っている家庭もあり、幼稚園側の理解と連携が必要である。特に岩寺小児歯科医院で受診している家庭は高い関心を維持している。
- 当園に限らず、昨今家族構成や子どもの生活リズムの多様化が顕著である。かつてのように「幼稚園保護者」というひとくくりでの対応が実際的ではなくなってきた。
- 保護者会による協力と、ダディの会の活動に成果が認められる。「そうめん流し」「アイスクリーム作り」「手作りパンとバター作り」を企画して、お父さんたちがこどもの食に関わった。  
→家庭の実情に合わせて個別の対応を目指していきたい。

### ③園歯科医師との連携

- ・指定校の取り組みが始まるまでは、歯科検診と保護者向け講演会の依頼のほか特段の連携をもってこなかった。
  - ・指定校の取り組みの当初に、学校医の位置づけについて本来の形を再確認することができた。
- 今後、学校保健委員会のたち上げを目指す。
- ・幼稚園発行の「歯の新聞」の監修を含め、幼稚園生活に学校医の専門性を活かす発想が職員に定着した。

### ④幼児の自律的課題－1

- ・歯と口について関心を深め、自らの全身の健康と、生涯を見通した健康について関心をもてるようにしたい。
- ・絵本やエプロンシアターを用いて、また歯と口に関連した制作を通してそれぞれのクラスで働きかけた。取り組みの成果については個人差が大きく、クラス全体の取り組みとしては未だ途上にある。自発的な歯磨きやうがいの習慣が身につく幼児がいる一方で、行為と知識が本人の中で結びついていない場合も見られる。クラス全体への指導と共に、個別の対応が重要であると思われる。

### ④幼児の自律的課題－2

- ・園歯科医による学びの中で、体格に適合した椅子や机を姿勢正しく用いることが、舌の働きや顎の発達に重要であることを知った。幼児自身が、自らの体格にあわせて体の位置を調整できるように踏み台を用意してみた。これは踏み台の出し入れの手間を考えると実際的ではなかった。今後、体格に合ったいす机を導入していきたい。
- ・食後の口ゆすぎを奨励した。将来、年長児クラスにおけるフッ化物洗口の準備として、ぶくぶくうがいを身につけている。

### ⑤取り組みの結果見えてきた課題

- ・私立幼稚園における歯と口の健康を考える時、教育現場の課題、家庭生活の課題、歯科医院との連携のほかに、学校経営に責任を負っている者の担当すべき課題がある。

⇒これからの私立幼稚園における養護教諭の可能性について考えてみたい。

### 私立幼稚園と養護教諭①

- ・法律の位置づけはどうなっているのか

学校教育法第二十七条 幼稚園には、園長、教頭及び教諭を置かなければならない

○2 幼稚園には、前項に規定するもののほか、副園長、主幹教諭、指導教諭、養護教諭、栄養教諭、事務職員、養護助教諭その他必要な職員を置くことができる。

### 私立幼稚園と養護教諭②

- ・札幌市内の私立幼稚園の実情  
→私立幼稚園連合会の2010年統計によると、札幌市内で養護教諭を採用している私立幼稚園は1園のみ。  
(道内の私立幼稚園での養護教諭の採用は複数確認している。養護教諭採用を促進する道学事課の姿勢もあり、今後増えていくと予想される)



### 私立幼稚園と養護教諭③

- 私立幼稚園に近年生じてきた新たな課題と養護教諭の働きの可能性について
- ①保護者の就業と家族構成の多様化  
→子どもの生活リズムや家庭環境も多様化した。
- ②預かり保育の拡大  
→ひとりの子どもの1日に関わる大人に、保護者と幼稚園担任のほか、預かり保育スタッフが加わるようになった。さらに医療や療育の専門家との連携が加わる場合もある。
- ③幼稚園における保健教育担当者の専門性  
→当園では、クラス担任が毎年交代で歯と口の健康推進指定校の取り組みを担当している。3年間の取り組みの深まりと外部との連携を考えると、ひとりのもので担当することが望ましいが、その担当者が必要とされる専門性と仕事量は、クラス担任には過大であると思われる。

### 私立幼稚園と養護教諭④

- 養護教諭の採用を考える場合の課題
- ①経営者と教育現場の理解が得られるか  
養護教諭について「保健室の先生」という先入観が根深い。
- ②経済的課題  
補助金は充実している。北海道では私立幼稚園を対象とした人件費補助の対象に養護教諭が加わった。また道の指定する取り組みに対して支出される特別分補助金にも、養護教諭(非常勤含む)採用に対する項目が設けられている。
- ③私立幼稚園個別の事情が違うこと  
私立幼稚園の規模は50名以下から400名以上まで幅が広く、それぞれに養護教諭に期待する内容と効果が違ってくると思われる。当園は定員80名であり、養護教諭を採用する経済的条件と、ひとりの養護教諭が個別の指導計画を実施することを考えると適当な規模である。

### 養護教諭採用見送り

- 2012年度からの養護教諭採用を目指して準備したが、教職員と経営者からの理解を得るには至らず、採用を見送った。
- 関係者評価委員会において説明した場合も、保護者や養成校教員から養護教諭採用の意義について理解を得られなかった。
- これまでは園長が「歯の新聞」の発行を始め、会議での報告を担当してきたが、今後いっそう教職員の積極的な取り組みが期待される。

### 2012年度以降継続する取り組み

- 2012年度に3歳児用の椅子と机を新調する。
- 年長児のフッ化物洗口実施に向けて、具体的な目標を掲げて取り組む。  
目標「幼稚園に入ってからむし歯にしない」  
「むし歯ゼロで小学校へ送り出す」  
→2013年度より年長児のフッ化物洗口を実施  
→幼稚園での歯磨き実施  
→正しい姿勢でゆっくり良く噛んで食べよう  
→家庭での仕上げ磨きの推奨  
→規則正しい食生活と生活リズム

### 頂戴しました

